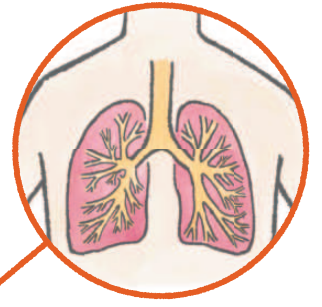


わかりやすい版

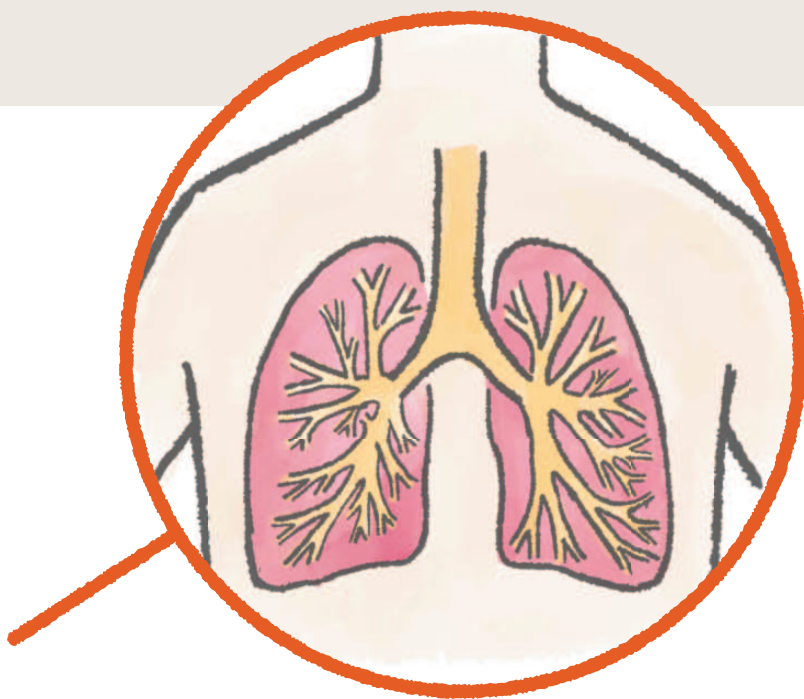


はい

# 肺がん



# はい 肺がんとは?



## はい 肺は どこにある?

▶ 肺は、私たちの胸の中にある  
空気の袋のようなものです。  
みぎがわ ひだりがわ  
右側と左側に1つずつあります。

はい わたし  
肺は私たちが  
いき す は  
息を吸ったり吐いたりするのに  
やくだ  
役立っています。

▶ 肺にできるがんを、  
はい  
肺がんといいます。

## はい 肺がんは どのような病気?

▶ 肺がんがまだ小さいときには、  
どこかが痛くなったり  
たいちょう わる  
体調が悪くなることはありません。  
はい おお つぎ  
肺がんが大きくなると、次のような  
しょうじょう なが つづ  
症状が長く続くことがあります。

- ・せきが出る
- ・息が苦しくなる
- ・胸が痛い
- ・たんに血がまじる

いき くる わお いた  
息が苦しい、胸が痛い

せき が出  
せきが出る



たん ち  
たんに血がまじる



こう した しょうじょう で  
こうした症状が出たり、  
たいちょう ちが  
体調がいつもと違うなど  
かん  
感じたりしたら、  
かぞく しえんしゃ そうだん  
家族や支援者に相談しましょう。  
じぶんひとり なや  
自分一人で悩まないでください。

ただし、これらの症状は  
肺がんではない病気でも  
起こることがあります。

▶日本では1年間に  
およそ12万人が肺がんになります。  
60歳を過ぎた人が多いですが、  
若い人でもなることがあります。

▶たばこを吸う人は  
肺がんになりやすくなります。  
また、周りの人が吸う  
たばこの煙でも

肺がんになりやすくなります。

ただし、たばこに関係なく

肺がんになることもあります。

▶肺がんは、早めに見つければ  
治療してなおすことができます。

がんが進んでしまうと、せきが出たり、  
息が苦しくなったりしますが、  
薬を使って治療します。

肺がんになっても  
治療して元気に過ごしている人は  
たくさんいます。

# はい 肺がんだと わかったら？

1

しんさつ そうだん  
診察・相談



2

けんさ  
検査



▶ <sup>はい</sup>肺がんかもしれないときは、まず<sup>けんさ</sup>検査をします。

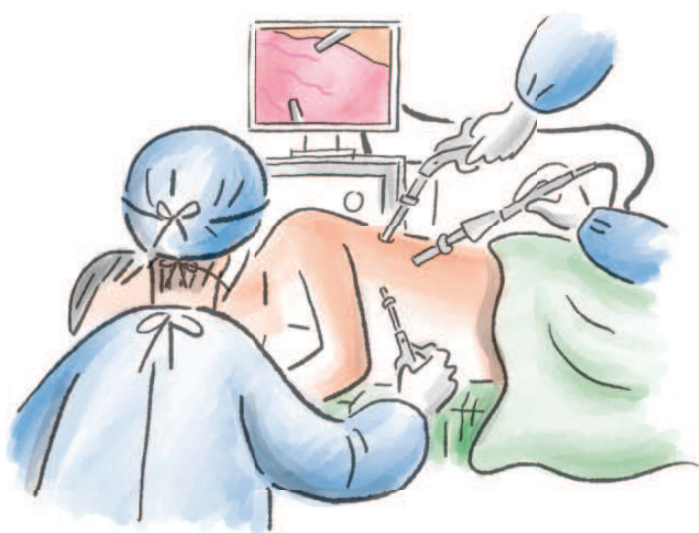
そして、もし<sup>はい</sup>肺がんが見つかったら、<sup>ちりょう</sup>治療をします。

<sup>はい</sup>肺がんになったら、どんな<sup>けんさ</sup>検査や<sup>ちりょう</sup>治療をするのか、<sup>すこ</sup>少し<sup>み</sup>見てみましょう。

ただし、<sup>けんさ</sup>検査や<sup>ちりょう</sup>治療の方法は、<sup>ひと</sup>その人の<sup>じょうたい</sup>状態などで<sup>か</sup>変わります。

### 3

#### <sup>ちりょう</sup> 治療



### 4

#### <sup>ちりょうご</sup> <sup>せいかつ</sup> 治療後の生活



# 検査 - 肺がんの検査をする

## どんな検査をする？

▶ 肺がんかもしれないときは、  
次のような検査をします。  
がんがあるかどうかを調べたり、  
もしがんがあったら、  
どこにあるか、どのくらいの  
大きさかを調べます。

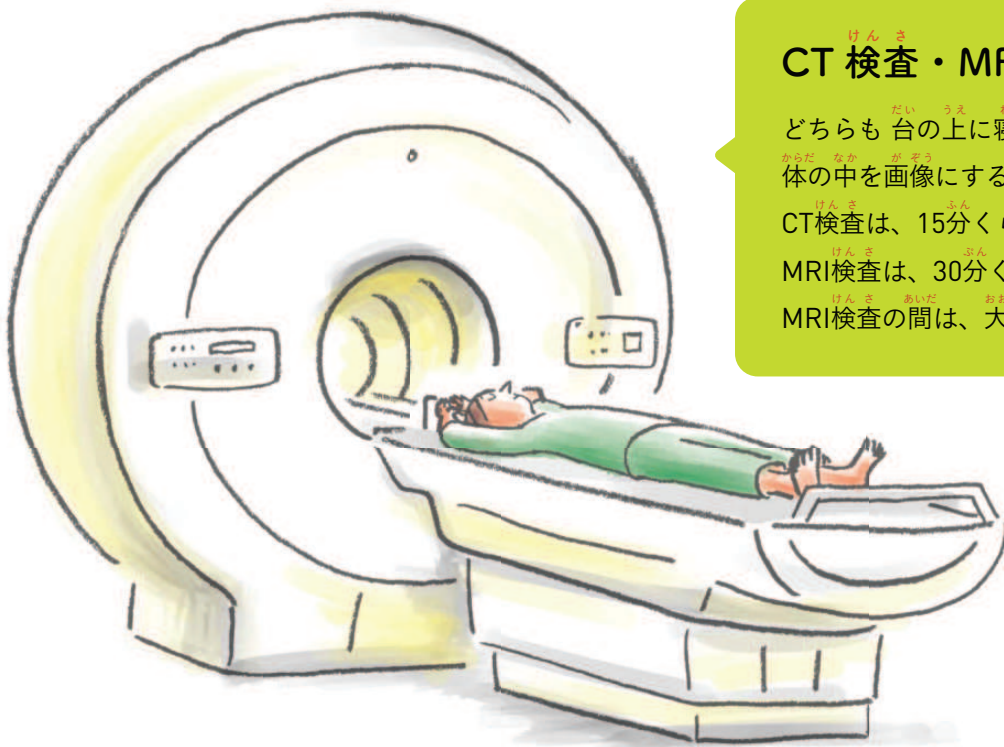
### レントゲン検査

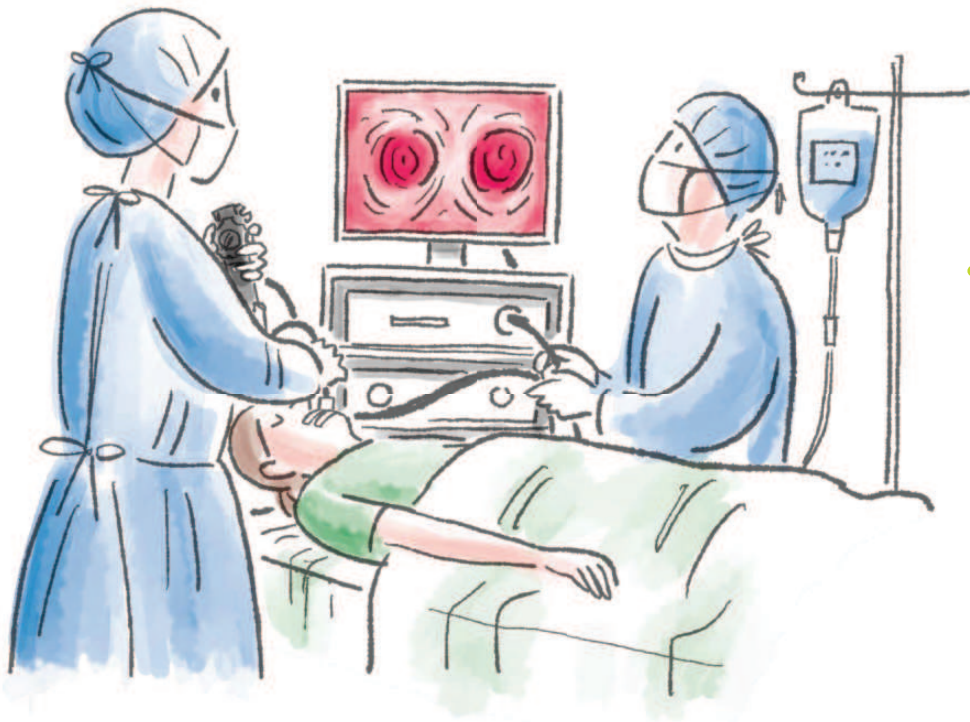
レントゲンをとります。  
すぐに終わる簡単な検査で、  
痛いこともありません。



### CT検査・MRI検査

どちらも台の上に寝て  
体の中を画像にする検査です。  
CT検査は、15分くらいで終わります。  
MRI検査は、30分くらいかかります。  
MRI検査の間は、大きな音がします。





## びょうりけんさ 病理検査

肺がんの可能性があれば、  
肺の細胞を取って  
がんの種類などを調べます。  
小さなカメラを肺に入れて  
細胞を少しだけ取ります。  
この検査をしているとき、  
せきなどで  
苦しくなることがあります。  
でも、検査の前に  
麻酔をして  
なるべく楽に検査を  
受けられるようにします。

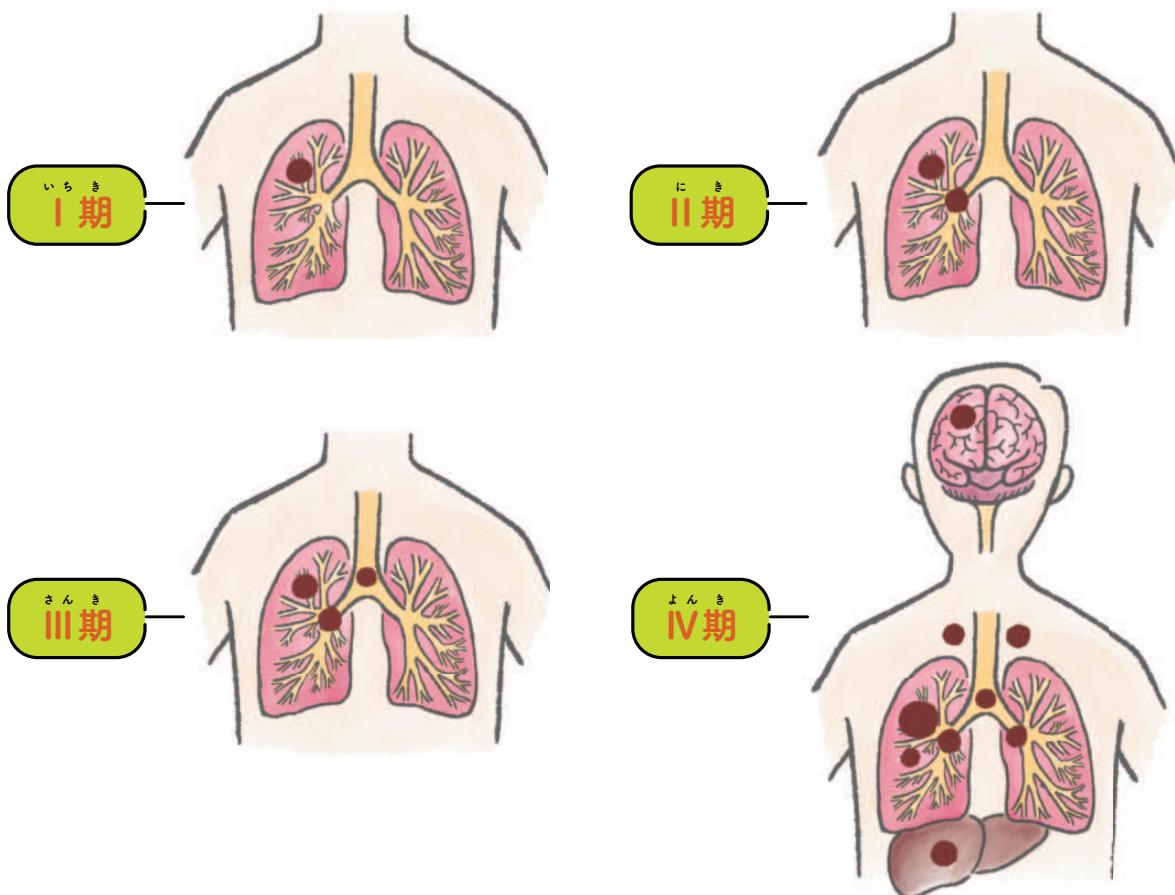


## けんさ バイオマーカー検査

けんさとさいぼうち  
検査で取った細胞や血から  
どんなタイプのがんのかななどを  
しらべてもらいます。

はい すす  
**肺がんが どれくらい 進んでいる？**

がんのおお ぼしょ ちが  
 がんの大きさや場所などは、イラストと違うこともあります。



はい すす ぐ あい  
**肺がんの進み具合**

▶ 肺がんは、どれくらい進んでいるか (ひどくなっているか) によって

I期、II期、III期、IV期

というように分かれています。

▶ I期がいちばん軽いがんです。

片方の肺の中に

小さながんがある状態です。

▶ II期は、がんが大きかったり、小さくても片方の肺の外側に広がっていたりします。

▶ III期は、II期よりもがんが大きかったり、片方の肺の外側に大きく広がっていたりします。

▶ IV期は、もう片方の肺や肝臓、骨などほかの場所にもがんが広がっている状態です。





## 肺がんが見つかったら

▶ 肺がんの治療には、  
手術をして肺がんを切り取る方法、  
「放射線」を体に当てる方法、  
薬を使う方法があります。  
また、体や心のつらさを  
やわらげる治療もあります。

▶ どんな治療をするのがいいか、  
医師がていねいに  
説明してくれます。

# 治療 1 手術をする治療



▶脇のあたりに小さな穴を空けて、

胸腔鏡（内視鏡）という

小さなカメラを入れます。

別に空けた穴から

はさみなどを入れて

肺がんがある部分を切り取ります。

手術の前には麻酔をするので、

眠っている間に終わります。

▶わきの下を切って

手術することもあります。

▶手術の前や後には、入院します。

入院しているときにも、

好きなテレビを見たり、

本を読んだりできます。

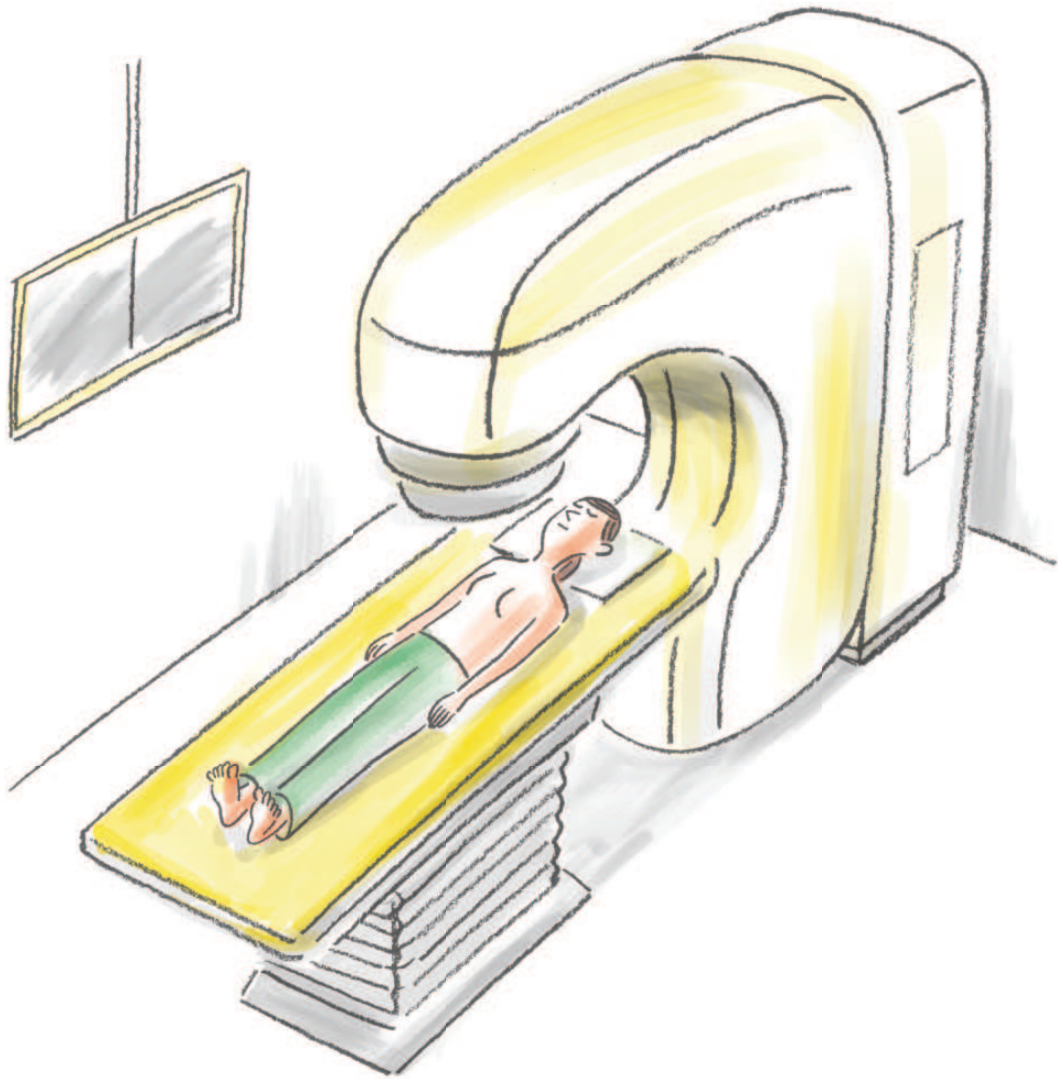
▶手術の後には、

呼吸の訓練やたんを出す訓練、

歩く訓練などをして、

もとの生活に戻れるようにします。

## 治療 - 2 放射線を当てる治療



▶ 肺がんをなおしたり、  
症状をやわらげたりするために、  
「放射線」を使う治療があります。  
放射線は、目に見えない光の流れです。  
これを当てて、がんを  
なくしたり小さくしたりします。

▶ 放射線というと  
怖いイメージがあるかもしれませんが、  
正しく使えば治療に役立つものです。

▶ 放射線を当てるときは、  
ベッドのようなところに寝て  
何分間か動かないでいます。  
機械で体に放射線を当てます。  
痛みはまったくありません。

# 治療<sup>ちりょう</sup> 3 <sup>くすり</sup>薬を<sup>つか</sup>使う<sup>ちりょう</sup>治療



▶ <sup>はい</sup>肺がんを <sup>な</sup>おしたり、  
<sup>しょうじょう</sup>症状を <sup>や</sup>わらげたりするために、  
<sup>くすり</sup>薬を <sup>つか</sup>使うことも <sup>あ</sup>ります。  
また、ほかの<sup>ちりょう</sup>治療と <sup>あ</sup>わせて  
<sup>つか</sup>使ったり、  
がんがこれ以上 <sup>い</sup> <sup>じょう</sup> <sup>おお</sup>大きくなるのを  
<sup>おく</sup>遅らせるためにも <sup>つか</sup>使います。

▶ <sup>くすり</sup>薬には、<sup>の</sup> <sup>くすり</sup>飲み薬と  
<sup>てんてき</sup>点滴で <sup>い</sup>入れる <sup>くすり</sup>薬があります。  
<sup>たいちょう</sup>体調や <sup>はい</sup>肺がんの <sup>じょうたい</sup>状態によって  
<sup>つか</sup>使う <sup>くすり</sup>薬が <sup>ちが</sup>違います。

## 治療 - 4 つらさをやわらげる治療



▶ 肺がんになると、体が痛くなるなど  
つらい症状が出る場合があります。

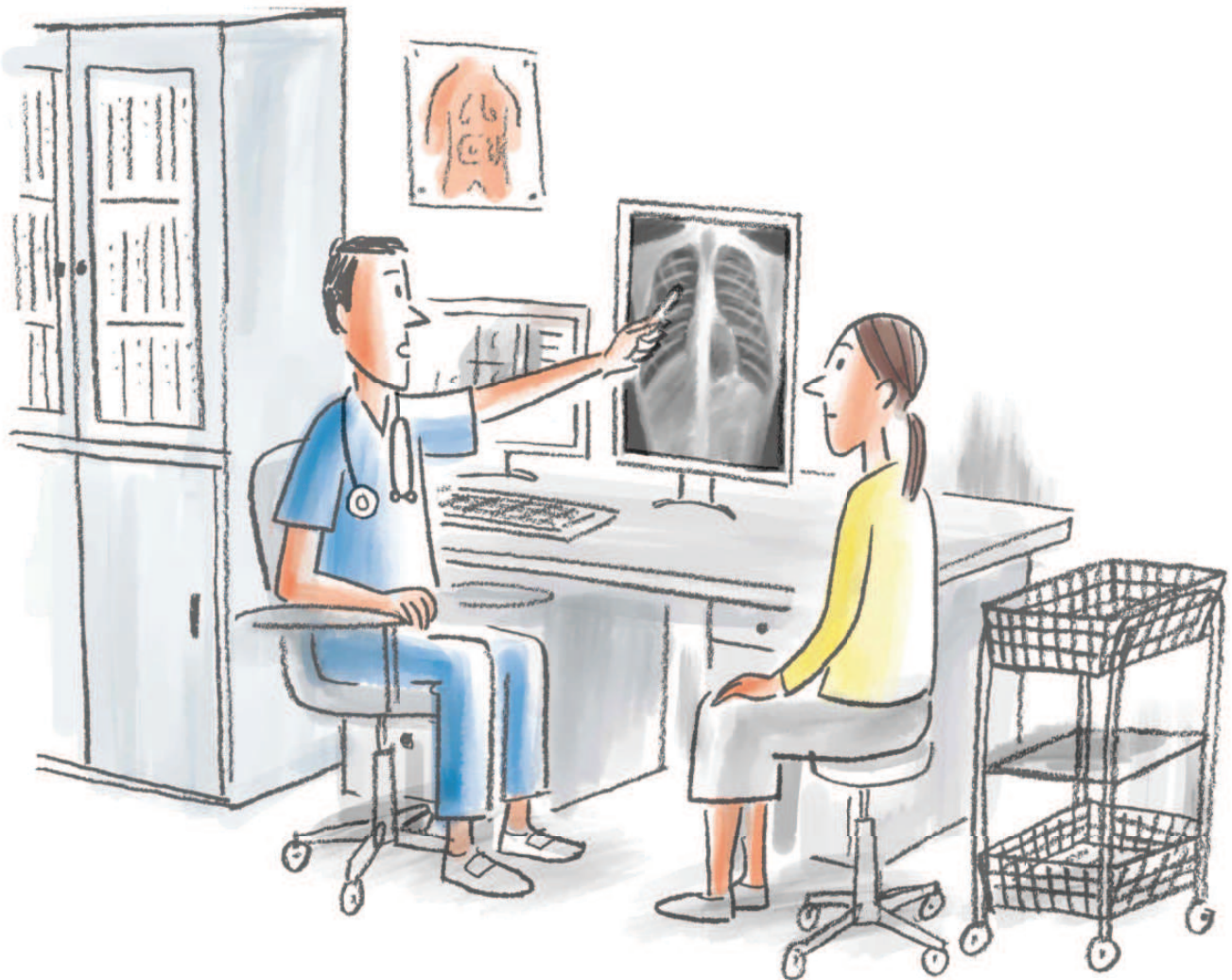
がんになったことで  
心がつらくなる人もいます。

また、がんの治療によって  
だるくなったり、手足がしびれたり、  
吐き気がしたりすることもあります。

▶ そのような症状を  
薬でやわらげたり、  
心のカウンセリングをすることなどを  
支持療法や緩和ケアといいます。

▶ 支持療法や緩和ケアは、  
がんの進み具合に関係なく  
おこなわれます。

体や心がつらかったら、  
一人で悩まないで  
病院のスタッフに伝えてください。



▶ 治療して

がんをなくすことができれば、  
ひとまず安心です。

ただし、小さながんが残っていて、  
また大きくなることがあります。  
これを再発といいます。

▶ また、がんの細胞が  
ほかの場所に移って、  
そこで大きくなることもあります。  
これを転移といいます。

▶ 再発や転移が起こっていないか

調べるために、  
治療したあとも何年間か  
ときどき検査をします。

ふだんは普通に生活しながら、  
検査の日に病院に行きます。

▶ がんが再発や転移をしていたら、  
治療のしかたを  
医師と相談します。



たばこは吸わないように



▶ 治療のあとは、  
前と同じような生活で大丈夫です。  
食べものも 前と同じように  
食べていいです。

## たばこはやめる

▶ 今までたばこを吸っていた人は、  
たばこをやめましょう。  
たばこを吸うと、  
また肺がうまく  
はたらかなくなったりします。



<sup>はい</sup>  
**肺がんは、**  
<sup>はや</sup> <sup>み</sup>  
**早めに見つければ**  
<sup>ちりょう</sup>  
**治療をして**  
  
**なおすことができます。**  
<sup>すす</sup>  
**がんが進んでいても**  
<sup>くすり</sup> <sup>ほうしゃせん</sup> <sup>つか</sup>  
**薬や放射線を使って**  
<sup>いた</sup>  
**痛みやつらさを**  
  
**やわらげることができます。**  
<sup>ふあん</sup>  
**不安なことや**  
  
**わからないことがあれば、**  
<sup>びょういん</sup>  
**病院のスタッフや、**  
<sup>そうだん</sup> <sup>しえん</sup>  
**がん相談支援センターに**  
<sup>なん</sup> <sup>そうだん</sup>  
**何でも相談してください。**

**わかりやすい版**

**肺がん**

2022年3月発行

編集 <sup>いっばんしゃだんほうじん</sup> 一般社団法人スローコミュニケーション  
 デザイン <sup>ほそやまだ</sup> <sup>じやうじよ</sup> 細山田デザイン事務所  
 イラスト <sup>ハラアツシ</sup> ハラアツシ

作成母体 <sup>れいわ</sup> <sup>ねんごう</sup> <sup>こうせう</sup> <sup>どうか</sup> <sup>かくはん</sup> <sup>きょうりゅう</sup> <sup>ほ</sup> <sup>じょう</sup> <sup>きん</sup>  
 令和3年度厚生労働科学研究費補助金  
 がん対策推進総合研究事業  
 『障害のあるがん患者のニーズに基づいた  
 情報普及と医療者向け研修プログラムの  
 開発に関する研究』班

この冊子は、知的障害のある人など  
 簡単な日本語表現を必要とする人たちに  
 向けてつくられています。  
 より詳しい情報は  
 「がん情報サービス」でご覧いただけます。

